

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○5月18日～

先週の為替相場は緩やかに円安が進行しました。

介入警戒感はありますが円高になる要因もなく、158円台後半まで戻してきました。

先週来日した米国のベッセント財務長官から利上げ要請や金融引き締めについての発言もなく、米国と中国の首脳会談も波乱なく終わったことで比較的落ち着いた動きとなっています。

行き過ぎた円安や株価の暴騰がまだ続くのかに注目したいです。

今回、米国は民間企業のトップを大勢引き連れて訪中しましたが大きな成果はなかったということで、期待感から上がってきた株価に調整が入るかもしれません。

米中は、関税の引き下げで合意し、中国が農作物、航空機の購入を決めたようです。

イラン情勢やレアアース問題の解決などへ期待があった分、停戦してもホルムズ海峡の閉鎖は終わらず、リスクオンになっていた株式市場などが冷静になってくるかもしれません。

AIや半導体などの一部銘柄の上昇の勢いが続けば、リスクオン相場はまだ続く可能性もありますが、5月下旬から6月にかけて世界的にナフサや原油不足の問題が深刻化してくることを考えると相場の雰囲気が変わってくるかもしれません。

日本も6月から異次元の物価高(インフレ)になるという話があり、世界的にインフレへの懸念がでてきています。日米ともに長期金利が上昇していることも気になります。

金融政策についても欧州だけでなく、米国も利上げを検討する動きになるかもしれません。

最近発表された米国の消費者物価指数や卸売物価指数はインフレ懸念を再燃させています。

米上院は13日に次期FRB議長としてウォーシュ氏を承認しました。

新体制になったFRBがどのような金融政策を進めるのかにも注目したいです。

トランプ大統領の意向を受け、利下げに動こうとしてもFRBの中にも利下げ反対派がいるため今の状況ではすぐに利下げを行うことは難しそうです。

また、ウォーシュ氏はリーマンショックの後の量的緩和(QE)には基本的に反対している人物です。

今後、QEで拡大しすぎたバランスシートの縮小に動き出す可能性もあるかもしれません。

利上げとバランスシートの拡大(QE)という組み合わせの金融政策は今までもありましたが、利下げとバランスシートの縮小(QT:量的引き締め)という政策は未知の部分もあり、FRBがどう動くのか気になります。引き締めはやりすぎると金融資産の暴落を招きます。

金融政策と政治の問題のどちらからも信用不安になる可能性があります。

英国は与党の労働党のスターマー首相への辞任圧力が高まっています。

政治不安から先週はポンドが売られる動きも出ています。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

<ドル/円>

先週は円安が進み、158.8円あたりまで上昇してマーケットは終わっています。
159円台では介入リスクが高まってくるため上値は重くなってくる可能性があります。
高値を買うより、ニュースなどで急落して安くなったところを狙って買うのが安全そうです。
下値は157円台では買いが入りやすく、156.8円程度までの下げであれば円高リスクは限定されそうです。下がれば買いが入りやすい相場なので、上手に買っていきたいです。
下値が156.5円を割り込むと再度155円台まで下落するリスクがでてくるので注意がいります。

<気になるクロス円>

クロス円も先週は上昇しているペアが多く、高値圏での動きが続くかどうか注目です。
カナダドルは週足でも陽線となり、下値不安はやわらぎました。
ポンドはポンド/ドルが大きく売られた影響もあり、週足でも陰線となりました。
ポンドは、今週も安値更新が続けば、トレンドが崩れてくるリスクが出てくるため注意がいります。
また、オセアニア通貨(豪ドル・NZドル)も先週末は大きく下げているため週明けの動きを見極めたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称:〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では1-3月期GDP(速報値)、4月貿易統計、3月機械受注、4月全国消費者物価指数などがあります。

米国では5月NAHB住宅市場指数、3月対米証券投資、4月住宅販売保留指数、FOMC議事要旨、前週分新規失業保険申請件数、5月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、4月住宅着工件数、5月製造業・サービス部門・総合PMI(速報値)、5月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではドイツとユーロ圏で5月製造業・サービス業PMI(速報値)、ユーロ圏で4月消費者物価指数(改定値)、ドイツで1-3月期GDP(改定値)、5月IFO企業景況感指数などがあります。

ほかには、カナダと英国で4月消費者物価指数の発表などがあります。